

理数コース3年生 校外実習③ アクア・トトぎふ訪問

10月22日(火)

AM アクア・トトぎふ施設見学

午前はアクア・トトぎふ館内を自由に見学しました。しかし、ただ見るだけでなく、クイズや写生などのオリジナルミッションに挑戦してもらいながら見学してもらいました。魚の餌やり体験をしている生徒や、カワウソがかわいいとずっと観察している生徒、アクアトトの飼育員さんによる説明を熱心に聞いている生徒など、それぞれの楽しみ方で午前の施設見学を終えました。

午後は、魚類の体の秘密を探るべく、いよいよ解剖実習です。ワクワクしていたり、恐る恐るな様子であったり、みんながドキドキしていました。実際に解剖させていただいた魚は「アマゴ」でした。

館員の方から解剖の目的、注意点について説明をしていただきながら、実習がスタートしました！生徒たちは1人1匹ずつ作業を行い、初めは緊張した様子でしたが、実際に手を動かすことで次第に自信を持ち、積極的に質問をしながら学んでいました。実習の中では、魚の外部構造、鰓の働きや内部構造、内臓の配置を観察し、それぞれの器官がどのように機能しているのかを学びました。上手く解剖できた生徒は、さらに眼と脳まで観察することができました。直接目で見ることで理解が深まり、解剖後には、各々観察した結果をスケッチしたり、言葉でまとめたりして解剖を無事やり切ることができました！



↑生徒たちの様子



↑解剖して鰓や内臓が観察しやすくなっているアマゴ
(白子=精巢があったため、この個体はオス)

～生徒の感想（抜粋）～

- 今まで水族館とかそういうところに行く時はただ、魚きれいとかそういうのしか見てていなかったけど、初めて説明とかを見ながら見て、こんな特徴とかあるんだなど、そういう見方ができてとても楽しかったです。
- 自分がただただ「カエル」とか「サンショウウオ」となどと呼んでいるようなものでも、それぞれの魚(生物)にそれぞれ特徴があり、それを知ることで今後同じ生物を見た時に知っていなかった時と比べ観察に興味がわくと思うので良い機会となった。
- 魚を捌いたのが初めてで動物の内臓を見たのも初めてだったので新鮮だった。脳をうまく取り出せず悔しかった。
- 正直魚の解剖は初めてだったので少し怖かったけれど良い体験ができました。